

事業所における自己評価結果 (公表)

公表：令和 6年 6月 21日

事業所名 子ども発達プラザ ホエール

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			
	②	職員の配置数は適切である	5	1		利用日当日の各クラスの在籍児童の状況を見ながらクラス間で連携し、職員間の応援を行い、活動を合同で実施する等、柔軟に対応します。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6			
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6			
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6			
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6			
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		法定研修以外に外部から講師を招請し、療育の研修を実施しています。	
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1		未記入1 保護者から検査結果のコピーをいただいて、支援の参考に使っています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4			未記入2
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	6			
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5			未記入1
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			送迎や別件対応等で不在の場合、申し送りに参加していた職員から引継ぎを行い、当日に配布している活動表を確認するよう周知します。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1		月に1度、クラス毎でまとめて話す時間を設けて情報を共有しています。支援の振り返りの頻度が確保できるように配置の確認をしています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6			
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			未記入1
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5			未記入1

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4			未記入2
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4			未記入2
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		就学する児童については入学前に学校と連絡を取り、円滑な移行支援をしています。幼稚園、保育園も家族、各園の希望に応じて実施しています。	未記入1
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5			未記入1
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5			未記入1
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	5		近隣の保育園に交流する働きかけをしています。
	㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	1	今年度から市内の幼稚園、保育園、学校、市役所の関連部署と、児童に関わる関係機関と連携構築をする目的とする会議に参加しています。	
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	③①	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	5			未記入 1
	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			未記入 1
保護者への説明責任等	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6			
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6			
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6			
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	6			
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4		未記入 1 自然災害に備え、防災訓練を地域住民と共同で実施することを求められています。昨年度に呼びかけましたが、単独での実施となりました。今年度もイベント等を通じて交流する機会を地域に働きかけをします。
	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6		今年度は防犯訓練を実施する予定です。8月に警察の方が来所され、指導を受けます。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出 その他必要な訓練を行っている	6		非常時用に 備蓄している 食料を食事 として提供す る訓練も実 施していま す。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の こどもの状況を確認している	5			未記入1 他クラス児を把握できていないこともあ る。 薬の種類も多いため、マニュアルのような ファイルがあると共有できて良いのではな いか。 朝会や申し送り、会議などを通して周 知・共有していく。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の 指示書に基づく対応がされている	5		未摂取食材 に関するの チェックを行っ ています。	クラス毎では在籍しているお子さんは把 握できていますが、他クラスまで把握しき れていない状況です。 食事に関しては、食事トレーの色で判断 することができますが、周知しきれていな く、アレルギーのあるお子さんについて、職 員間で共有する場を設けます。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有 している	5	1		
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保 する等、適切な対応をしている	6			
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うか について、組織的に決定し、子どもや保護者に 事前に十分に説明し理解を得た上で、児童 発達支援計画に記載している	4		開所から今 日に至るまで 身体拘束を 実施していま せんが、内部 研修で実例 を交え、必要 な手続き、 流れを共有 しています。	未記入2

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果 (公表)

公表:令和 6年 6月 21日

事業所名 子ども発達プラザ ホエール 保護者等数(児童数)26人 回収数13人 割合50%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	1				
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	12	1				
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	13					
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	13					
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	13					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	12			1		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	13					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	11	1		1		
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	2	5	3		・園庭開放をして、交流できるかの検討をしていきます。
	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13					

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
保護者への説明等	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	12			1		・年に2回、日中通園クラス利用の保護者を対象とした保護者学習会を実施しています。 午後通園クラスの保護者にも参加できよう声を掛けるなどの対応を考えていきます。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	9	2	1	1		
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13					
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11	2				
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	4		1	・懇談会はクラス毎なので保護者（子ども）はわからない。 ・他クラスでも同じ学年の保護者と繋がりがあると小学校が一緒になった時に安心。	・日中クラスにつきまして、次年度以降に合同でお会いできる場を検討していきます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	13					
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13					
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	10	1		2		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	12					

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
非常時等の 対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	12			1		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13					
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	12	1			・お友達や先生方と会えるのを楽しみに登園している。	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	13				・安心して通わせることができる。 ・子ども気持ちに寄り添って支援してくださる。	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。